

20 年 月 日

公益社団法人電気化学会  
溶融塩委員会 御中  
送信先：[mscj@electrochem.jp](mailto:mscj@electrochem.jp)

所属 \_\_\_\_\_  
名前 \_\_\_\_\_  
(印は不要です)

### 転載・二次利用許可申請書

貴会が著作権を所有する著作物から転載いたしたく、以下のように申請いたしますので、許可願います。  
記

#### 転載元(多数にわたる場合は、別紙にて記載下さい)

誌名 \_\_\_\_\_  
巻号等 \_\_\_\_\_  
ページ \_\_\_\_\_  
図表番号 \_\_\_\_\_ (必要に応じて)  
著者 \_\_\_\_\_ (第一著者のみで可)

#### 転載先

発行者 \_\_\_\_\_  
発行誌名 \_\_\_\_\_  
目的 \_\_\_\_\_

#### 複写物の配布等

責任者 \_\_\_\_\_  
目的 \_\_\_\_\_  
セミナー等での使用の場合、配布数 \_\_\_\_\_

#### 営利・非営利の別 営利 (非営利の場合、申請は不要です)

補償方法(営利目的の場合) 学術著作権協会に申請・支払をする場合、本紙の提出は不要です。  
補償金の支払(本紙の提出が必要です)

#### 【注意事項】

1. 著者または本委員会会員である申請者(の1人)が転載使用する場合は、転載先および営利・非営利にかかわらず、本書類を提出する必要はありません。ただし、必ず原典の記載を行って下さい。
2. 営利目的とは、本転載内容を含む出版物・作品・講演等により本申請者(著者その所属する団体等を含む)が利益または報酬を受ける場合を指します。企業内研修やセミナーにおける参加者への資料配付もこれに含まれます。なお、二次使用により作成した著作物がそれにより受ける利益・報酬との実費相殺に相当する場合はその限りではありません。
3. 著作権法の例外により許可の必要のない用途にはこの申請書を提出する必要はありません。(大学等の対面授業・遠隔同時授業など。Web講義については2021年3月31日までは政令により許可なく使用できます)。

申請者殿

上記について使用を許可します。補償金のお支払方法については別途連絡いたします。

20 年 月 日

公益社団法人電気化学会  
溶融塩委員会 事務局長  
公印省略